

表 1361 被囊性腹膜硬化症(EPS)の既往 治療方法(新分類)別(腹膜透析の経験があるか現在施行している患者)

治療方法 (新分類)	なし	あり(剥離手術既往あり、 ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往あり、 ステロイド使用歴なし)	あり(剥離手術既往なし、 ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往なし、 ステロイド使用歴なし)	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析	5,123 (%)	372 (91.2)	22 (6.6)	51 (0.4)	49 (0.9)	5,617 (100.0)	182	608	6,407
Off-line HDF	189 (%)	14 (90.9)		4 (6.7)	1 (1.9)	208 (100.0)	7	21	236
On-line HDF	1,296 (%)	89 (92.3)	3 (6.3)	8 (0.2)	8 (0.6)	1,404 (100.0)	32	133	1,569
Push/Pull HDF									
バイオフィルレーション	4 (%)				4 (100.0)			3	7
IHDF	41 (%)	5 (85.4)		1 (10.4)	1 (2.1)	48 (100.0)	7	5	60
血液濾過									
血液吸着透析 (リクセル等使用)	44 (%)	7 (83.0)		1 (13.2)	1 (1.9)	53 (100.0)	2	5	60
在宅血液透析	86 (%)	2 (96.6)		1 (2.2)	1 (1.1)	89 (100.0)	1	8	98
腹膜透析 (CAPD)	3,039 (%)	12 (99.3)		8 (0.4)	2 (0.3)	3,061 (100.0)	11	1,830	4,902
腹膜透析 (APD)	1,800 (%)	11 (99.2)	1 (0.6)		2 (0.1)	1,814 (100.0)	21	940	2,775
腹膜透析 (CCPD)	733 (%)	1 (99.7)			1 (0.1)	735 (100.0)	15	342	1,092
合計	12,355 (%)	513 (94.8)	26 (3.9)	74 (0.2)	65 (0.6)	13,033 (100.0)	278	3,895	17,206
記載なし (%)									
総計	12,355 (%)	513 (94.8)	26 (3.9)	74 (0.2)	65 (0.6)	13,033 (100.0)	278	3,895	17,206

数値下の括弧内は行方向の合計に対する%です。

*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy

2015年調査